

### 太田川観音新町地区高潮堤防その2工事 学生向け現場見学会

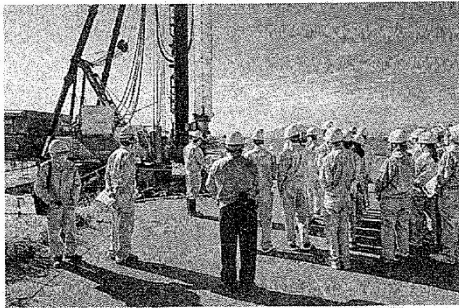
令和2年11月13日、「太田川観音新町地区高潮堤防その2工事」の現場で、山陽工業(株)(広島市)主催による学生向けの現場見学会が開催されました。

現場では、施工中のICTを活用した地盤改良工(SDM-FitVI工法)について説明をさせて頂きました。

## 太田川観音新町地区高潮堤防その2

### 広工大専門学生招き現場見学会

山陽工業



見学する学生



VRによる事故体験

山陽工業(佐藤社長)は13日、広島市西区で施工中の「太田川観音新町地区高潮堤防その2工事」の現場で見学会を開いた。広島工業大学専門学校の土木工学科1年生27人が現場を訪れ、ICTを活用した地盤改良工やVRによる事故体験・安全対策等を学んだ。

現場では浜本崇文監理技術者が「普段の工事現場は仮囲いに覆われて見えないが今日は実際の建設現場を見て、建設業に携わることがどのようなことを参考にしてほしい。皆さんは近い将来に自分の人生にとって大切な職業を選択するときが待っている。この建設業を就

職の選択肢のひとつに考えてもらいたい。建設技術は測量から完成まで全工程で近年急速に向上し、今後も発展し続ける。建設業は新しい技術に対応できる若い人材、力を求めている。安全・安心な暮らしを守り、非常に夢がある世界だと感じしてほしい」と挨拶した後、工

事概要を説明した。学生らは高潮堤防まで移動し、ICT建機で柔らかい地層にセメントと水を混ぜたものを注入しながら改良し、堅固な地盤を構築する地盤改良工を見学した。このあと仙台銘板の協力でVRによる事故体験・安全教育LooKCa(ルッカ)を使用した10のシチュエーションをリアルに体験した。また、ICTの活用で作業負担の軽減や安全・休日の取得、働きやすい環境に変化していることを説明した。

工期は2020年4月1日から21年3月31日まで。発注者は中国地方整備局太田川河川事務所。地盤改良工はSDM-FitVI工法を採用、三点支持式杭打機を用いた軸式攪拌翼と中庄ジェット攪拌を併用した中庄噴射機械攪拌工法、中庄ジェットを大径特殊機械攪拌装置から地盤中に固化材スラリー(セメントと水を混ぜたもの)を水平方向に噴射し回転引き上げを行い、大口径の改良体を造成する。ICTを活用した地盤改良工により、施工管理の効率化、出来形・出来高の見える化、ヒューマンエラーの防止、施工の高品質化が図られる。最後に六原久喜執行役員土木部長が「少しでも土木に触れることができたと思う。建設業界も変化し、社会に役立つ企業を目指している。将来皆さんも地域に貢献する人材になってほしい」と期待を寄せた。

<引用元：中建日報 11月20日発行>